

「福島第一原子力発電所第1～4号機に対する
「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画
に係る報告書」の変更内容について

平成24年11月30日
東京電力株式会社

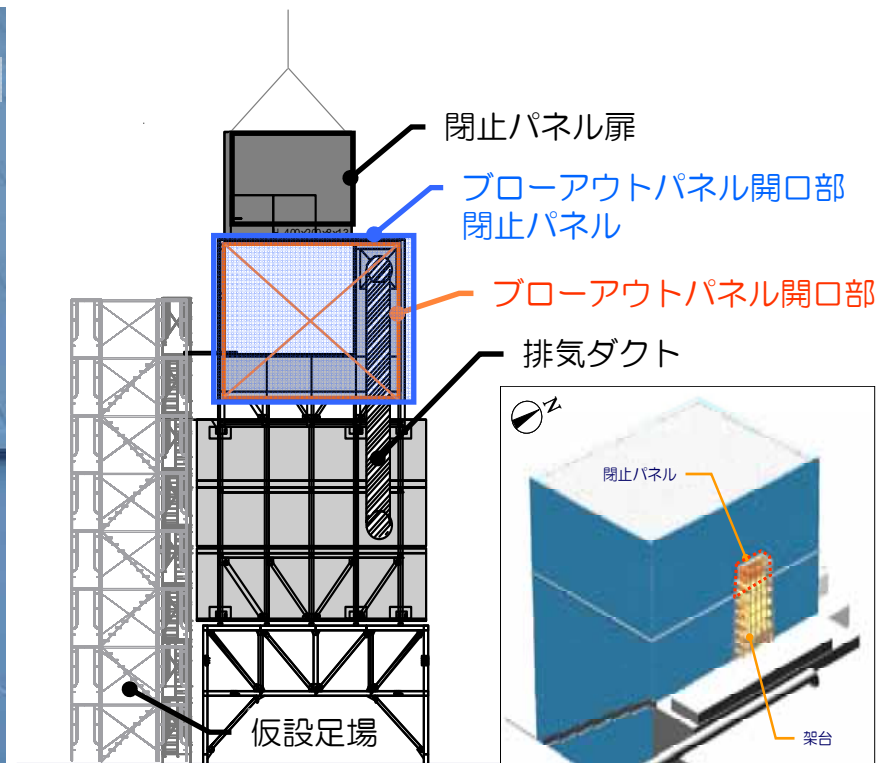
2号機ブローアウトパネル開口部閉止について

第2号機原子炉建屋の主な開口であるブローアウトパネル開口部を閉止し、合理的に可能な限り隙間面積を低減し、放射性物質の放出を抑制します。

平成24年12月上旬より、ブローアウトパネル開口部閉止パネル設置工事に着手します。最終的に閉止パネル扉を閉じて工事完了するのは、平成24年度末の予定です。



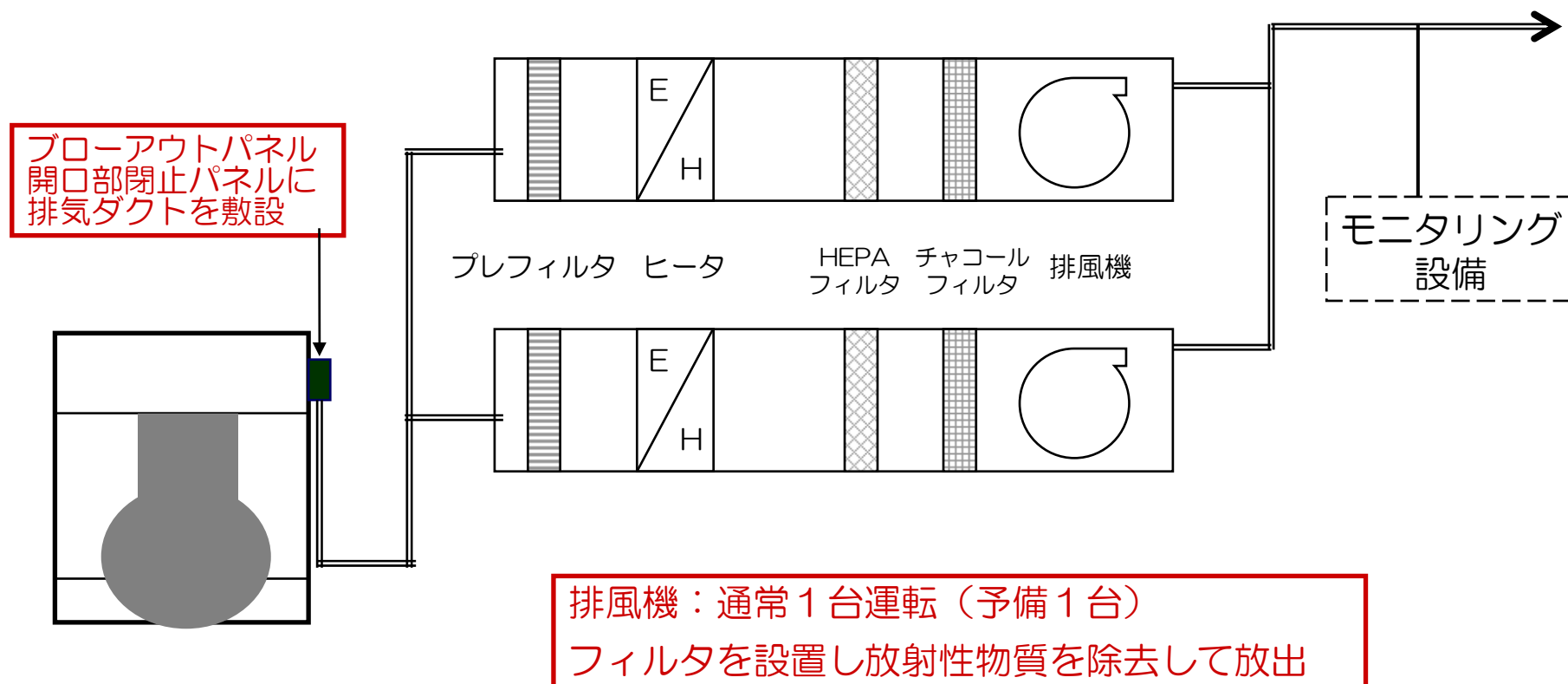
ブローアウトパネル開口部



閉止イメージ

2号機ブローアウトパネル開口部閉止に伴う排気設備の設置について

ブローアウトパネル開口部閉止に伴い、建屋内の環境悪化が予想されます。今後、使用済み燃料貯蔵プール内の燃料取り出し等の作業が想定されるため、作業環境改善を目的として、平成24年度末を目途に、排気設備を設置します。



排気設備の設置イメージ

福島第一原子力発電所敷地内 瓦礫等一時保管エリア（南エリア）への大型機器の移動について

目的

4号機原子炉建屋から搬出した大型機器のうち、以下の機器については、研究用の試料または遮へい材として再利用する可能性があることから、構内の一時保管エリア（Gヤード）に仮保管するものである。

対象機器

- ・原子炉圧力容器上蓋（以下、RPVヘッド）
- ・原子炉格納容器上蓋（以下、PCVヘッド）
- ・シールドプラグ
- ・ドライヤーセパレータープールスロットプラグ（以下、DSPスロットプラグ）

表面線量率

- ・PCVヘッド：0.015mSv/h（PCVヘッド内側に仮置きしているRPVヘッドも併せた評価）
- ・シールドプラグ：0.020mSv/h
- ・DSPスロットプラグ：0.028mSv/h

被ばく線量評価結果

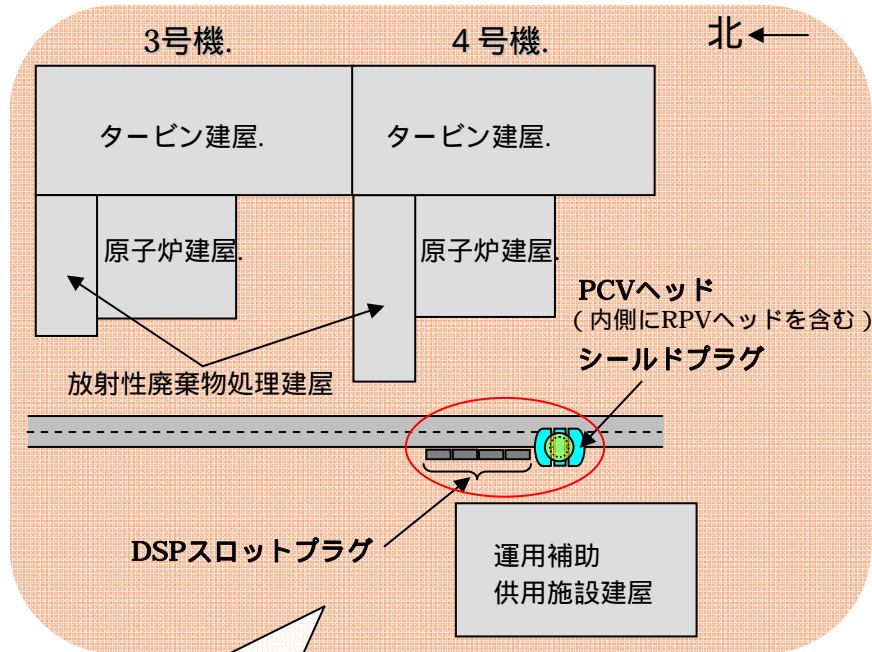
0.025mSv/年 敷地南エリアにおける瓦礫等に起因する線量：年間 約0.03mSv 0.06mSvと評価

大型機器の移動予定時期

平成25年 1月～平成25年 2月

福島第一原子力発電所敷地内瓦礫等一時保管エリア（南エリア）へ移動予定の大型機器について

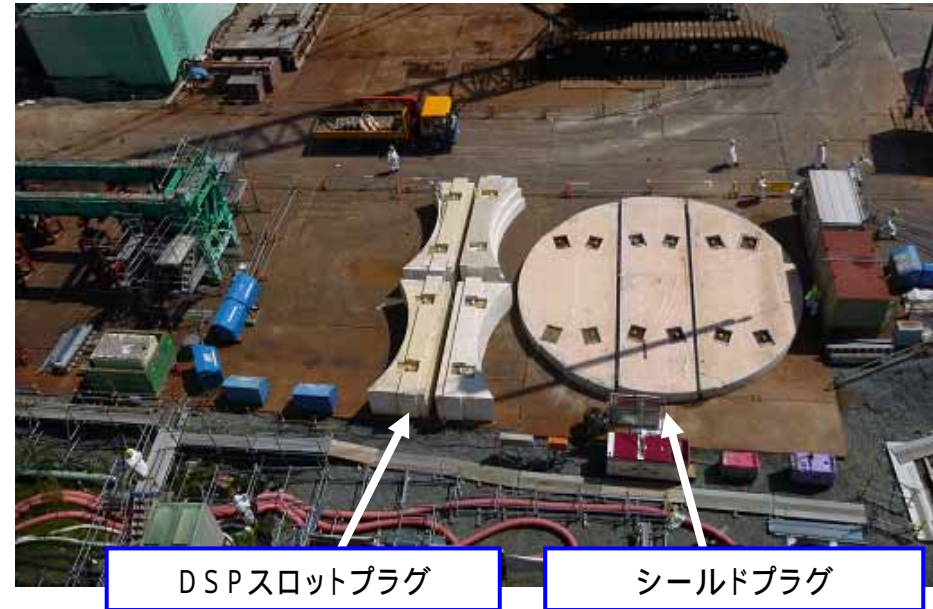
現状の仮設置箇所



現在は、4号機原子炉建屋の西側に仮置きしている。

【シールドプラグ上にRPVヘッドおよびPCVヘッドを重ねて置き、DSPスロットプラグはシールドプラグの横に置いてある。】

瓦礫保管エリアへ移動予定の大型機器



福島第一原子力発電所敷地内瓦礫等一時保管エリア（南エリア）の位置

